

## まいすてっぷ放課後等デイサービスご利用保護者様による評価（令和5年2月実施 105人中99名回答 回答率94%）

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	ご意見	現状と対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか。	90	9	0	0	・以前（統廃合前）のところが広かったと思う。	運動できるスペースには限りがありますので、同じ時間帯に使用が重なり危なくないよう、お子様ごとに運動課題の選択と設定をずらして行なっています。
	② 職員の配置数や専門性は適切であるか。	96	3	0	0		お子様に関わる職員は全て、保育士、教諭、言語聴覚士の国家資格を持っています。人員配置は、基本人員＋2人加配の体制を維持しています。
	③ 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか。	63	29	4	3		玄関から車椅子ごと入室できるよう、取り外し式のスロープを設置しています（新町事業場）。現在車椅子のご利用はありません。階段は昔ながらのもので急ではありますので、上下には柵が設置してあります。お子様の昇り降りの際はスタッフが付くか、目を離さないようにしております。現在までの9年間事故はありませんが、今後も注意を払い安全確保したいと思っております。時折、階段の上り下りの様子で、お子様のボディイメージの発達や、身体の協調運動などの評価をしていることもあります。また、ちょっとしたアスレチックがわりの時もあります。いずれにしても、安全に配慮することを第一に行います。
計		249	41	4	3		
適切な支援の提供	④ 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか。	95	3	1	0	・悪化した時、その旨伝えましたが、計画通りにとの対応だった。	お子様のご相談について、担当者と児発管で共有できていなかった件につき反省をいたしました。小学校から中学校に進学される際、利用日数を月2、3回（隔週利用）から月1回に減らしたいと希望される方も毎年あり、これまでご希望に添っておりましたが、多くは中学2年生ごろに問題が起き、月1回では状況把握できず対応困難となる例が続きました。一度減らした回数は戻せないことがほとんどで、十分な支援を行うことができません。本年度からは、中学進学後も必ず月に2、3回（隔週）利用を維持されることを、継続の条件とさせていただきます。当事業は標準化された検査（発達検査、言語検査等）やチェックリスト（感覚・運動）等を用いて、お子様の発達状況の把握に努めています。他者とのコミュニケーションに困難を抱えるお子さんは、表面的なことばの発達の水面下に、さまざまな要因が絡み合っていることが多く、それらを一つ一つ子ども側の立場で紐解きながら進めることが、結果的にコミュニケーション能力の向上につながると考えています。
	⑤ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか。	89	10	0	0		活動プログラムは、個々の発達の状況に合わせて、スタート時から少しずつレベルアップしていきます。言語・コミュニケーション能力の向上についても、対大人の個別支援だけでは難しく、グループでの会話やディスカッション、子ども同士の談話の経験が、学校集団の中でのコミュニケーション能力を向上していきます。まいすてっぷの中高学年、中学生のグループ療育は、1年を通して、良きパートナーとなる子ども同士を選抜し、意見を聞くこと、話題を共有すること、相手の立場や気持ちを考えて話すことなどを、関わりを楽しみながら学習できるよう支援しています。普段はグループ活動でも、本人に重篤な悩みがあるときは、個別支援に切り替えて対応します。
	⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。	27	40	28	4	・コロナのためと思われます。・コロナのため難しいと思う。・障害の有無に関わらず、共に同じ社会で生きていくにあたり、小さい頃からの交流は重要だと思っている。・利用する子のケースによると思いますが、うちの場合はありません。コロナ禍でもあり、妥当だと思います。・個別支援のため。	当放課後等デイサービスをご利用中のお子様について、地域の小中学校や高校などの、障がいのない子どもの集団に属しているお子様の割合が多く、特別支援学校所属のお子様は全体の18%となっています。また、月の利用回数が少なく、小・中学生月2回、高校生月1回なので、その中で交流活動を行うことは現実的に難しいと考えています。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答	ご意見	現状と対応
計		211	53	29	4		
保護者への説明等	⑦ 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか。	97	2	0	0		ご利用開始時や、事業内容の変更時には必ず説明し、サインをいただいております。
	⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか。	97	2	0	0	・振り返りの時間を設けてあるので、相談がとてでき、助かっています。	コロナ禍は、毎回の保護者さまのお話が駐車場であったため、大変ご不便をおかけいたしました。ようやく室内にてお話できるようになり、スタッフも安堵しております。それでも不足の際はメールをいただくと、改めて担当者で協議の上、お時間を調整させていただきます。
	⑨ 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか。	93	6	0	0	・月に1回の利用なので、どちらともいえない。・家庭内のできるごとの指導をしてほしい。	ワンセッションは、お子様への直接的な療育のみではなく、終了後10～15分程度、保護者様への療育内容フィードバックを行っております。その際にご質問いただければ、担当と相談の上、具体的な内容をお伝えできると思います。
	⑩ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか。	18	45	30	6	・コロナのためと思われます。・コロナのため接触はほとんどないです。・コロナ以前にあった勉強会がとて良かったので、落ち着いたらまた役に立つ会を、開催していただくと嬉しいです。・現状はやむを得ない。・現実には難しいと思います。・コロナ禍で仕方ないと思う。	まいすてっぷの療育時間に同室される保護者様には、できる限り交流を図っていただきたいという思いがありますが、現在まだ入室時間が短く、時間帯により個別対応が多いため、交流や連携の少なさの要因になっていると思います。来年度は同室の保護者様の交流にも、できるだけ配慮をしたいと思います。
	⑪ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	82	15	0	2	・苦情を言ったこともないのでわかりません。	療育内容や、スタッフの対応、運営に関する内容など、苦情は理事長濱下（うろうろして捕まらないこともあります）まで、お電話かメールにて、遠慮なくご連絡ください。
	⑫ 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか。	96	3	0	0		コロナの感染状況が変わるたびに様々なご連絡をメールを主体にさせていただきました。その返信にてお子様やご家族の状況を知るきっかけにもなっています。
	⑬ 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか。	93	6	0	0		「まいすてっぷ新聞」の定期発行を行っております。また、公式LINEにて、情報発信をさせていただいています。昨年に引き続き、4月には自己評価も同封させていただきます。
⑭ 個人情報の取り扱いに十分注意しているか。	94	4	0	1		個人情報の取り扱いはスタッフ全員に誓約書署名を行い、漏えいされることのないよう管理しています。併用事業所間で上限管理を行う際も、保護者様やお子様の氏名は隠して送信しております。保護者様よりいただいた、欠席等の連絡メールの内容も、スタッフLINEにて随時周知いたしますが、全とお名前は伏せています。ただ、解読できないスタッフもたまにいます。個人情報の書類は、セキュリティがかかったドライブにて保存しております。	
計		670	83	30	9		
非常時等の対応	⑮ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。	79	19	0	1		緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しておりますが、本年度、室内にてご説明できる機会が少なく、周知徹底できておりませんでした。今後努力していきたいです。避難訓練は、地震・火災、風水害を各1回行いました。
	⑯ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか。	49	37	9	4	・よくわからない。	お子様一人一人に、災害時の対応方法を視覚化し、療育時間の中で、ソーシャルスキルトレーニングとして学習したり、お子様数人にご協力いただき、避難訓練をいたしました。
計		128	56	9	5		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	ご意見	現状と対応
満足度	子どもは通所を楽しみにしているか。	90	6	1	2	・他の子と関わりがなく個別な為、恥ずかしさはないも、物足りなさは感じている様子。・毎回とても楽しみにしているので、長く続けられています。・隔週の利用ですが、「今度はいつまでつぷ行けるの?」と聞いてきます。・体調や気分によって変化する。・毎回楽しみにしております。ありがとうございます。	まいすてっぷは「保護者送迎」が基本であるため、お忙しい中保護者さま自身が、子どものために何とか時間を確保し、通所を続ける努力をされております。私共も厳しい条件を申し訳なく思いつつも、お子様がその送迎時間を、お父さんお母さんを独占できるデートのように感じているのも事実で、まいすてっぷへの通所を楽しみにする理由の一つになっていると思います。しかし、お子様の年齢が思春期に差し掛かると、必ずしも楽しみには来れないこともあると思います。高学年、中学生のお子様には、通所を継続する理由を正しく伝えることが大切です。社会的自立を目標とし、自分の特性について理解を深め、ライフステージの変化に伴い、所属する集団の中で、自分の得意不得意について他者に説明ができる、必要な配慮を求められることができる、私達は、個々の発達段階を見極めそこに導いていくことが役割だと思っています。
	事業所の支援に満足しているか。	95	2	1	1	・親には言いづらい事を先生へ相談や、困り事を聞き出して親に伝えてもらい、親もどんな事を思っているのか把握しやすいです。・子どもの悩みや相談を聞いてもらい助かっています。・通所し初めて9年になるが、本当にまいすてっぷに通うことができ感謝しております。・専門性が高く、安心して通わせることができる。(本人も前向きに来所できている。)・満足しております。引き続きよろしくお願い致します。	遠方からいらっしゃるお子様も多い中、送迎車のない当事業所を長年ご利用いただけることに、大変感謝しております。これからも、保護者さまとともにお子様の実り多い生涯を描き、皆様にご満足いただける療育を提供できるよう、全スタッフで尽力していきたいと思っております。
計		185	8	2	3		

お忙しい中のご回答、ありがとうございました。当事業所は昨年度の事業所統廃合後、以前にも増して大所帯となり、支援が行き届いているのかとても不安に感じています。お子様を直接支援する担当者には、お子様の特性や困難な点にできる限り合わせて配置しておりますが、自分自身も含め、すべての支援者が熟達しているわけではありませんので、不足な点はご遠慮なく、児童発達支援管理責任者にご相談ください。来年度も引き続き、ご利用いただけることに感謝いたします。  
管理者・児発管 濱下かおり

### 大項目ごとの回答の割合

● はい ● どちらともいえない ● いいえ ● 無回答

